

シンジコハゼ

Gymnogobius taranetzi (Pinchuk)

スズキ目ハゼ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内の広い範囲から確認されているものの、一部の地域では生息場所は狭く孤立している。

形態

体型などはピリンゴやジュズカケハゼと区別が付き難いが、頭部にある感覚管や感覚管開孔の数で区別できる。

国内分布

富山県、石川県、福井県、島根県。

県内分布

能都町、穴水町、七尾市、羽咋市、内灘町、小松市、加賀市。

生態

塩分に対する適応力は比較的低いものと思われる。成魚は主に底生生活をしていて、季節的な移動も見られる。

生息地の条件

流れが穏やかで、砂泥底の水路に生息する。渦につながる水路では、かなり奥部にまで侵入してくる。

生存の危機

水路のコンクリート化や落差工の設置。(A)

特記事項

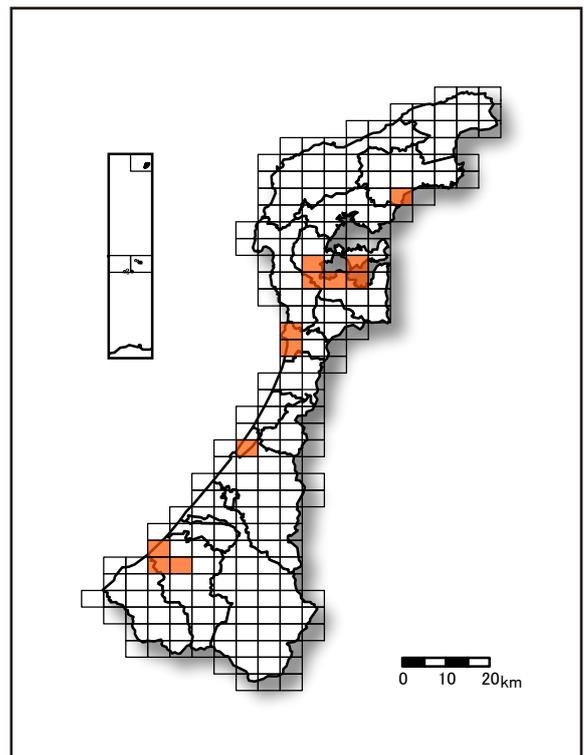
本種が最初に記載された穴道湖産のもの、それ以外の場所で確認されているものとは、系統的に距離があることが調べられている。

参考文献

Stevenson, D.E. 2002. Systematics and distribution of the Asian goby genera *Caenogobius* and *Gymnogobius* (Osteichthys: Perciformes: Gobiidae), with the description of a new species. *Species Diversity*. 7: 251-312.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布